北海道バプテスト連合ニュース
全道にキリストの光を！

２０１７年１月発行　No. １０９
発行者　西島啓喜　　編集者　西島啓喜
発行所　〒080-0809　帯広市東9条南8丁目1-3
帯広バプテスト・キリスト教会内
http://hokkaidobap.jimdo.com　pw:jbc1947

巻頭言

「『わたしはある』と言われた方に」

北海道バプテスト連合　副会長　田森茂基（旭川教会牧師）

神はモーセに、「わたしはある。わたしはあるという者だ」と言われ、また、「イスラエルの人々にこう言うがよい。『わたしはある』という方がわたしをあなたたちに遣わされたのだと。」
（出エジプト記3：14／新共同訳）

先日、２０１６年の流行語大賞に「神ってる」という言葉が選ばれたとのニュースを耳にしました。それと同時に、何人かの信仰の友から、この「神ってる」という言葉を聞くと悲しくなるという声や、不愉快になるという声を聞きました。或いはこの「神ってる」という言葉に限らず、現代の日本社会には「神対応」のような「神○○」という表現が氾濫している事に、違和感を覚えている方もおられるかもしれません。特に聖書の示す、天地を創造し、全ての命の源なる『全知全能の神』こそ、「神」であるとの理解に立つキリスト者の中には、現代日本人が用いる「神」を、極めて安っぽい存在と感じる方が少なくないように思われます。その感覚が、先に述べた「悲しくなる」とか「不愉快になる」という感情に繋がっていると見られますが、その事をきっかけに、私は改めて私たちの信仰の対象について考える機会をいただきました。

話を「神ってる」という言葉に戻しますが、この言葉が有名になったのは、あるプロ野球球団の監督の発言がきっかけでした。ですので、発言者に確認しないと正確なことは分からないのですが、おそらく「神がかっている（「神がかり」の現在進行形）」という言葉から“がか”が省略されたものだと推測されます。そしてこの推測が正しいのであれば、この「神ってる」という言葉は、自然界の至るところに「八百万の神」の実在を認める“神道”の用語であると言えます。もう少し突き詰めると、そもそも「神」という日本語そのものが、“神道”の言葉でありました。即ち、日本語、および日本の文化における「神」とは、一般的にこの「八百万の神」を指しているのですから、省略の是非はあるにせよ、超人的な活躍をする人に対して「神がかっている」と表現する事は、日本語としては決して間違ってはいないのでしょう。そしてこのような考察から、「神ってる」という言葉に代表される現代日本における「神」という言葉に違和感を覚えるのは、翻訳の問題にあると考えられます。

他の多くの国がそうであるように、この日本でもある時期に宣教師によってキリスト教が伝えられ、聖書が翻訳されました。そして旧約聖書において「エル」および「エロヒーム」と記されている存在をどのような日本語に翻訳するか思考錯誤した結果、“神道”の用語である「神」という言葉が選ばれました。その他にも「大日（如来）」とか、ギリシャ語新約聖書の“θεος”を音訳した「ゼウス」と訳された事があったようです。しかし、多神教の「神」と一神教の「神」が共有できるはずはなく、上記のような混乱が生じているのだろうと思われます。改めて考えると当然の事なのですが、それまで一神教という価値観がなかった日本において、一神教における「神」を表現する言葉は存在しないのです。ではどうしたら良いでしょうか。このことに気付いた私は今後について二つの選択肢を見出しました。一つは、聖書の示す唯一の「神」を表現する新たな言葉を模索もしくは創作する事。もう一つは、翻訳の不十分さを理解し、受容しつつ、モーセに向かって「わたしはある」と名乗られた方を、“わたしの神”として崇め、礼拝し続けることであります。そのどちらを選ぶにせよ、大切なのは、何が本当の「神」かを論じる事ではなく、私が誰を崇め、礼拝するのかという事ではないでしょうか。

●北海道の教会・及び・小樽教会の皆さん有難う ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

前小樽教会牧師　岩波　久一

北海道の皆さんと短い期間でしたが、お交わりが出来たことを心より感謝しております。北海道は、冬を考えますと雪と寒さが直ぐに浮かびますが、しかし、人と人との交わりは、暖かく、心の温もりをいつも感じさせる素晴らしいところでした。

小樽バプテスト教会は、私達夫婦にとっては、とても忘れ難い教会です。私達は、牧師の生活としては、53 年になりましたが、その間、5 つの教会を牧会させて頂きましたが、神学校を終えて最初の赴任地が小樽であり、そして牧師として最後の赴任地が小樽であったのです。最初と最後の間には、50 年の月日が流れていましたが、今回の小樽教会への赴任は、最高の幸せでした。短い 3 年半でしたが、小樽の街の温もりを肌に感じることが出来、又、御近所の人々の交わりにおける暖かさを改めて感じ、教会における教会員の皆さんとの信仰の交わりも暖かく、心にしみいる皆さんの心遣いの中に共に過ごさせて頂いたことは、とても恵み豊かな経験でした。礼拝での交わり、私の語る言葉に、祈り、聴き、支えて下さったお一人お一人に信仰に励まされながら勤めさせて頂いた講壇、木曜日の「聖書の学びと祈り会」に出席して下さった方々との学びと祈り会は、本当に、学びと語らいの豊かな恵みの時でした。その喜びと祈りに満ちた集いから、伝道への力、感謝と励ましを頂き、恵み多い時でした。

牧師としての最後の人生において、与えられたあの喜びは、教会員の皆さんによって与えられたものでした。小樽教会の皆さんに心より感謝申し上げます。

10 月より、私たちの住まいは、埼玉県入間市に移りました。住まいから一番近い飯能バプテスト教会にて、教会生活を送っております。飯能バプテスト教会は、私が、開拓伝道に携わり、9 年間勤めさせて頂いた教会です。現在、私は、81 歳ですから、牧師を引退して、信徒の一人として、キリストに仕えて行きたいと望んでいるところです。北海道全ての教会の皆さんに感謝し、特に小樽教会の皆さんには、心から感謝し、今後のお働きの為、お祈りしています。有難うございました。

●連合音楽委員会報告～小樽バプテスト教会礼拝奉仕～ ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

連合音楽委員　齊藤聖彦（帯広教会）

本年度音楽委員会は、賛美と証を通して、連合加盟教会のお手伝いをさせていただくことを活動の柱として掲げ、去る１２月１８日に、小樽教会の礼拝で奉仕をさせていただきました。

待降節第四主日の大切な礼拝であったと思いますが、札幌教会から１３名の聖歌隊メンバーにもご協力いただき、委員長の真部恵子さんとともに、クリスマスを中心とした讃美歌を皆で歌い、神様に捧げることができました。札幌教会聖歌隊の素晴らしいハーモニーや小田学さんと真部さんの証と賛美、自分もメッセージの担当をさせていただき、皆様とともに恵みに与ることができました。

小樽教会はこの９月いっぱいで前任の岩波牧師が辞任され、無牧師となりましたが、そのような状況をものともせず、明るいムードで皆様が元気に、笑顔で礼拝を守っておられる姿に励まされて帰ってきました。これからも教会の働きと、牧師招聘という大きな使命の中で、交わりが整えられ、神様の祝福が満ち溢れるように、お祈りに覚えたいと思います。それから、今回、日程の関係で委員の森さんが参加できませんでしたが、今後予定されている活動のためにも、ご加祷下されば幸いです。

●初めての信徒セミナー ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 札幌バプテスト教会　田仲瑠都子

『「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について感謝しなさい。これがキリスト・イエスにあって、神があなたがたに求めておられることである。」
テサロニケ人への第一の手紙 5 章 16 ～ 18 節

この御言葉をどのように子ども達（幼児・小学生）に伝えたらよいだろうか。』

先日、参加しました信徒セミナーの私のグループでは、この御言葉が与えられ、課題について話し合いました。グループの方々１人１人、この御言葉に想いや考えがあり、私はただただ感心するばかりで、あっという間に時間が過ぎたように感じました。

最後の礼拝で、まさか私がグループ代表になり、子どもメッセージをするとは夢にも思わず、心臓が口から飛び出る程緊張しましたが、グループの方々に熱く祈られ、励まされて、なんとかメッセージをすることができました。とても感謝しています。

牧師先生に誘われて、なんとなく参加した初めての信徒セミナーでしたが、こんなに神様の恵みと信徒の方々の祈りをたくさん感じられるとは思ってもみませんでした。今まで深く考えた事がなかったこの御言葉が、不思議と

すーっと心に入ってきた感じがしました。貴重で素晴らしい時間を過ごせたと思っています。

今後も教会学校でメッセージをすることがよくありますので、この経験を生かしていきたいと思います。

●道南７☆クリスマス Again ！！ ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 苫小牧教会　田代　ゆか

今回の道南ブロック牧師・牧師連れ合いの会は、１２月２６日・２７日に函館教会を会場として行われました。この道南ブロック牧師・牧師連れ合いの会は、今から約５年前に自主的な形で始まり、現在は道南の４教会の牧師（４名）と連れ合い（３名）であることから「道南７」と呼んでいます。今回は２５日のクリスマス礼拝を終えた中、クリスマス Again ！！の喜びにあずかるために集まりました。

本多牧師のクリスマスメッセージによる開会礼拝に始まり、牧師たちは説教演習や教会の課題についての意見交換、私たち連れ合いの会は、それぞれの課題を出し合い、おしゃべりを通して、互いに励まし合い、喜び合い、力をいただきました。この連れ合いの会は、私たちにとって大切な時間となっています。

夜は時間をかけて焼いた丸焼きチキンをメインにプチクリスマスディナー。さらに 25 日にバプテスマを受けた本多祐基君が、クリスマス礼拝で披露したと言うバイオリンによって文字通り音楽一家となった本多家によるミニクリスマスコンサートが行われました。それはとても感動的で素敵な時間でした。

今回はクリスマス Again ！！によって２度クリスマスの喜びを味あわせていただいた道南ブロック牧師・牧師連れ合いの会でした。今後もこの会を継続し、主にある豊かなお交わりを通して、互いに祈り合う中で、協力伝道を進めていけたらと願います。大切な働きのある中で会場提供をしてくださった函館教会と本多先生方、そして連合諸教会の皆さまのお祈りに、そして神さまに心より感謝いたします。

●野田村仮設住宅訪問感謝礼拝　2016 年 9 月 9 日（金）◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

鮫教会牧師　林　健一

2016 年 3 月をもって終了した野田村仮設住宅訪問ですが、半年ぶりに支援に参加された有志の方たちが集まり鮫教会で感謝礼拝を持つことができました。午前は野田村を訪問しお世話になった社会福祉協議会の事務所を尋ね、以前訪問していた各仮設住宅・集会所の様子を見に行きました。すでに野田中仮設住宅の解体が始まっていて復興に向けてまた一歩前進したことを実感しました。当初からお世話になった自治会長（野田中仮設）の中野さん夫妻との再会に喜び皆さんの様子もお聞きすることができました。

感謝礼拝では５年間の活動をスライドで振返り、田中信矢牧師よりヨブ記 21 章 2 節から『無形の支援～傾聴なのだ』と題して、活動の意義とここから受けた恵みについて語ってくださいました。礼拝後は分かち合いの時を持ち支援に参加された方たち皆で野田村の活動を通しての感想や感謝の思いを語り合いました。

復興に向かっている野田村ですが、昨年の 8 月に三陸沿岸を襲った台風 10 号はここにも深刻な被害をもたらしました。どうぞ、このこともおぼえて復興のためにお祈りください。

● 2016 連合牧師セミナー報告

2015-2016 教役者会幹事長　本多啓示（函館教会牧師）

今回の牧師セミナーは、「牧師のメンタルケア」というテーマと、連盟宣教研究所のご協力のもと、所長　朴思郁氏、臨時所員　松見享子氏のお二方を講師兼アドバイザーとしてお迎えしました。

初日の講演 1「今日における教会形成と牧師 / 朴氏」、講演 2「牧師のメンタルヘルス / 松見氏」では、教会形成に関する客観的視野と整理分析の方法や、牧師自身のメンタルヘルスとケアの方法を分かりやすく学ぶことが出来ました。

2 日目は、旭川東光松坂克世牧師と、函館本多啓示牧師の発題による「牧会事例研究」を実施。午後一で会場を後にされた松見氏を一同で見送った後、自由時間にはドライブがてら洞爺湖畔のレストランにてランチと昭和新山を満喫。夕食の席では同年 9 月末をもって小樽教会を辞し牧師を引退、北海道を後にされた岩波久一牧師の送別会を実施。小樽での最後の 3 年半を含む、先生御自身の牧師人生 50 年に及ぶ貴重な証を語ってくださいました。

●吉田尚志牧師就任按手式報告

室蘭バプテスト・キリスト教会　柴田信行

主の御名を賛美致します。

私たち室蘭バプテスト・キリスト教会は 2014 年 3 月に前任の齋藤隆牧師が辞任されて以来、私たちの教会に相応しい牧師を迎えたいと神様の導きを祈り求めておりました。そんな中、2015 年 11 月に釧路教会の奥村敏夫牧師より吉田尚志神学生の紹介を受け、2016 年 4 月 1 日より室蘭バプテスト・キリスト教会の牧師として招聘できる大きな恵みが与えられました。

無牧師の間は、執事 3 名の礼拝宣教奉仕に加え、毎月 1 度（第 5 週の月は 2 度）連合の諸牧師による礼拝宣教並びに主の晩餐式支援に与かりつつ、毎週の礼拝を守る喜びが神様から与えられ、感謝致しております。

吉田尚志牧師の就任・按手式を迎えるにあたり、按手をどのように理解すべきかの学び会を実施致しました。４月：苫小牧バプテスト・キリスト教会・田代仁牧師、５月：函館美原キリスト教会・福田雅祥牧師、６月：旭川バプテスト教会・田森茂基牧師、7 月：釧路キリスト教会・奥村敏夫牧師による大変貴重で有意義な学びをお聞きし、８月には吉田尚志牧師の意見も聞きつつ、現時点での按手理解が次のように与えられました。バプテスマと主の晩餐の 2 つの礼典は、按手による公認・聖別ではなく、教会が牧師に委託していく大切な働きであり、按手式とは分離して牧師就任と同時に委託する働きであること。そして、就任・按手式における按手は、私たち教会員、連盟・連合諸教会並びに地域教会の祝福・協働・連帯を目的に実施するということでした。

そのような理解のもと、昨年の 10 月 10 日、吉田尚志牧師の就任・按手式を迎え、按手祈祷は、参列者全員の祝福・協働・連帯の思いを込めて、全員にその祈祷の輪に加わっていただき、教会代表者柴田信行に加え、連盟代表者福田雅祥牧師、並び連合代表者西島啓喜会長、地域教会代表者藤山勝彦牧師、そしてバプテスト教派神学校西南学院大学神学部代表者須藤伊知郎教授にしていただきました。

当日には多くの連合諸教会の方々や、地域教会の方々、遠く連盟諸教会の方々が訪れてくださり、110 名ほどの参加者の中で、祝福と喜びに満たされた式を行うことができ、心より感謝致します。

新しい年を迎え、連合諸教会の働きの上に、神様の恵みと導きが豊かにありますようにお祈り致します。

在主